

2017 年新年賀詞交歓会挨拶

会長 芳賀美次

会員の皆様、改めまして新年明けましておめでとうございます。本日は、賀詞交歓会にご出席いただき、ありがとうございます。日頃より会員の皆様のご支援とご協力のお陰で、協会運営は2016年度も大体スムーズに行われたと思っております。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。また先程は、「新春公開セミナー」でご講演いただきました岡田先生、大変ありがとうございました。ネオジム系焼結磁石の量産は、先生のストリップキャスト法の開発によるところが大きいことがよく分かり、大変勉強になりました。今後ともご指導・ご支援宜しくお願いします。

それでは、年頭に当たりまして、一言協会の活動状況と当協会が集計致しました、「2016年のボンド磁石の生産出荷統計」を簡単に報告します。

まず協会の主な活動状況を数点簡単に申し上げます。

1点目は、事業計画の技術例会、シンポジウム、公開セミナー、寺子屋BM塾、軟磁性研究会、BM NEWSの発行などは、技術委員、企画委員、機関誌編集委員の皆さんの頑張りで大変良い結果で終わることができました。

2点目は、昨年東京タワーで行われた「キッズ環境科学博士2016」のイベントに参加しました。磁石を応用した玩具や体験教室にも積極的に参画し好評でした。秋篠宮妃殿下の姪子さんも来ていただき、熱心に体験していただきました。

3点目は、12月8日の「世界出荷統計討論会」に中国から13名参加していただき、活発な質疑応答により、世界のボンド磁石の出荷量に関する多くの情報を得ました。また、参加者の中には、会員になった会社もあり、国際会員も増えました。ただ、中国からの参加者には、20歳代、30歳代の若者も多く5年後、10年後には、日本の脅



威になる懸念もあると思いました。

以上が今年の技術委員、企画委員の主な活動結果であります。

続いてボンド磁石の出荷統計の報告に入ります。吉田企画委員長が中心となり大変苦勞して集計していただいた2016年の日本国内及び日系海外メーカーのボンド磁石生産推定であります。公式の最終報告は、BM NEWSの4月号に掲載しますが、その後得たデータや情報を精査し最終決定をします。**(期の途中までのデータに基づくため、最終結果はp??を参照してください)**

I. ボンド磁石の全般的動向

2016年の日本国内におけるボンド磁石の生産は、やや伸びたとみている。

フェライト系フレキシブルボンド磁石は、前年比横ばい。フェライト系リジッド磁石は、前年比で微増。希土類系ボンド磁石は、異方性材料や車載用途は伸びたが前年比減少した。

この様な結果から、日本国内におけるボンド磁石全体の生産量は、11,370(t)になり数量は100%、金額は希土類が減ったため前年比95%であった。

一方、日系メーカーの海外生産は、中国やEUへの輸出が増えていること、中国の件費アップで価格競争力がついたことなどで、金額が550億円で前年比110%と推定した。

次に分野別動向を報告する。

II. ボンド磁石の分野別動向

1) フレキシブルフェライトボンド磁石

2016年の国内生産数量は、前年比横ばいで3,240(t)、前年比100%、金額について

も前年比横ばいで23億円、前年比100%と推定した。

また日系メーカーの海外生産と技術指導による海外での委託生産などが伸び、金額が17億円で155%の伸びと推定した。

2) リジッドフェライトボンド磁石

2016年の国内生産は、数量で6,800(t)、前年比101%、金額は105億円、前年比101%と推定した。

日系海外生産は、国内と同様な傾向と考えられるので前年比101%で86億円と推定した。

3) 希土類ボンド磁石

2016年の国内生産数量は、1,300(t)、前年比93%、金額についても254億円、前年比93%と推定した。磁石原料を数量で見るとその内訳は、等方性MQPが550t、Sm-Fe-Nは400t、HDDR他が350tとなる。

日系メーカーの海外生産は、MQ3の生産増加との情報もあり、金額で550億円で110%と推定した。

以上の結果から、日本国内生産金額と日系海外生産金額の合計が、1,034億円、前年比110%になる見通しである。

この様な結果から2016年は、ボンド磁石が初めて1,000億円を超えた年になったようである。

以上が出荷統計報告であります。

結びになりますが、今年のお正月は、トランプ次期米国大統領の話題でいっぱいでありました。新聞やTVでは『期待と不安』がキーワードの様にいろいろなところで言われておりました。確かに世界中で『富の偏在』が起こり、政治的に修正する時期かもしれません。皆さんも大統領就任式の1月20日以降をいろいろな点で注目しておられることと思います。この様な新年ではありますが、当協会は今年もより良い協会を目指してまいります。ご支援よろしくお願い致します。そして本年も会員皆様のさらなるご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。